

Orinas

# 市庁舎が生まれ変わる

新庁舎・市民交流施設へ5月6日（木）移転



新庁舎総合案内周辺の完成予想図

## 新たなにぎわいづくりへ

現在の市庁舎と市民会館は、昭和40年代前半に整備され、行政機能や市民活動の拠点として、長年、その役割を果たしてきました。

しかし、いずれの建物も老朽化が著しいことに加え、産業構造の変化や少子高齢化など、本市を取り巻く環境が大きく変化したことから、市庁舎と市民会館を新築移転することを決めました。これをきっかけに、新たなまちのにぎわいや活力を生み出そうとしています。

## 3つの施設からなる複合施設に

新しい施設は、「つながり」をテーマに、市庁舎、市民交流施設、健康福祉連携施設からなる複合施設です。「多くの人が集い、彩り豊かなまちを共に織りなす」との思いを込めて、愛称は「オリナス」としました。

新しい市庁舎では、市民利用の多い窓口関係課を低層階に集約したり、主な証明書をまとめて発行できるコーナーを設置したりするなど、利便性の向上を図っています。また、雨に濡れずに車いすやベビーカーを利用できる駐車場や多目的トイレを設けるなど、ユニバーサルデザインにも配慮しています。

## 暮らしに身近で心地よい施設に

市民交流施設には、会議室や運動室、軽音楽などを楽しめる防音室などを設け、誰もが楽しみながら健康づくりや市民活動に取り組むことができます。カフェや屋上庭園もあり、皆さんの暮らしに身近で誰もが心地よい施設を目指しています。



施設内には有酸素運動ができる運動室も

◇  
広報にしわき5月号で、新庁舎・市民交流施設オリナスを特集します。

また、15ページに関連記事を掲載しています。



# 謹賀新年

年頭のごあいさつ 西脇市長 片山象三

新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年はコロナに始まりコロナに終わった一年でした。まだまだ収束が見通せない状況が続いていますが、海外ではワクチンの接種が始まるなど、希望の兆しが見えてきています。市民の皆さまにはもうしばらくの間、感染予防をしっかりと行っていただきますようご協力をお願いします。

昨年は、2月に約半世紀ぶりに市内に酒蔵が、3月には国道175号西脇北バイパスの一部分が開通するなど、市の「復活」の鍵となる事業が進ちよくなりました。

今年、いよいよ3月に新庁舎・市民交流施設が完成します。現在は、5月の開庁に向けて順調に工事が進められており、新庁舎の開庁に合わせて周辺道路を拡幅し、公共交通網を刷新。デマンド型交通（乗合バス）を導入します。50年に一度の大事業により、周辺

のまちが少しずつ動き始めます。また、今年7月に待望の東京オリンピックが開催されますが、西脇工業高校陸上競技部出身の田中希実さんが、陸上女子5000メートルのオリンピック選手の世界を見事勝ち取られました。世界を舞台に活躍されますことを期待申し上げますとともに、彼女たちに負けないよう、新しい年も前向きに未来を切りひらいていきたいと考えています。

誰もが生き生きと暮らすことができ、次代を担う子どもたちが夢と希望を持てる西脇市にするため、全力で市政運営に尽くしてまいります。このまちに住んでいることを誇れる「西脇市」をともに創ってまいります。

